

百味講だより



増上寺法主
小澤 憲珠

百味の飲食に思うこと

毎年四月になると大本山増上寺では御忌大会が催されます。御忌とは法然上人のご命日のことで、元祖様を偲び、そのお徳を讃える法要が御忌大会です。法要をお勤めする唱導師様は随喜するご寺院方ともにお練り行列によって大門を出発します。私は増上寺法主として入山する以前、毎年当山の御忌のお手伝いをしておりましたので、その様子は目に焼きついています。

ご寺院方の他に、木遣をうたう鳶職の頭たち、詠唱の吉水講の方々、そして寺侍の出立ちの百味講の方々に加わり、ご寺院方を先導します。百味講の方々は講元を先頭に、阿弥陀様、法然上人にお供えする百味の珍味を捧げ持っています。この行列はやがて三解脱門をくぐり大殿へと向きます。桜吹雪の中をすすむお練り行列はまさに絵巻物さながらの春の風物詩です。

百味講は増上寺の講中でも最古として知られ、江戸期にさかのぼると聞いています。その名の由来は「百味講だより」の創刊号で藤堂恭俊台下がしるしています。『無量寿経』を典拠に阿弥陀様のおられる極楽浄土では、百味の飲食が自然に備わっていると説かれます。下世話に言えば、勞せずしてご馳走が食べられるのが極楽浄土になりま

すが、これは念仏往生の目的ではありません。浄土宗が標榜する「お念仏から始まる幸せ」の目指すものではありません。

しかしながら増上寺はお念仏の道場であり、百味講もお念仏のご縁によってつながっています。百味の飲食がいただける極楽浄土にお念仏によって往生するのは、ご馳走が目的ではないのですが、一面では究極の幸せといえます。

極楽の原語は「スカパーティ」で安養とも安楽とも訳されます。極楽浄土へ往生した人には衣食住の憂いがないのですが、それが安楽の理由の1つになっています。極楽浄土はこの娑婆世界のあらゆるしがらみのない世界、迷いから解脱した世界で、仏様のお悟りの世界へひたすら近づいていく究極の幸せがそこにはあります。

お念仏によって往生した人は、百味のご馳走を実際に食べるわけではありません。おいしくいただけられるのです。往生すると菩薩の修行が本格的に始まります。その栄養価は菩薩の道を歩む往生人のエネルギーになるでしょう。これは今風の解釈ですが、これも阿弥陀様のご本願の功德といえましょう。



「釣燈籠」

安田松慶堂 星野 家康

日頃より大本山増上寺様、各御寺院様には大変お世話になっております。株式会社安田松慶堂の星野家康と申します。全ての文様を糸のこぎりを使い、(伝統的技法)手で透かす技術の美しさを見て頂きたいです。当社製作の八角釣燈籠をご紹介します。初めに、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、釣燈籠とは供養具であり、その中の燈供養具の一つであります。燈籠の笠蓋に釣環をつけ、釣るすことの出来るようにしたもので、仏前や社寺の軒先にかけるほかに、邸宅にも用いられています。形式は、釣環をもつ宝珠鈕、笠、火袋、受台脚からなり、釣環によつて懸垂できるようになっています。材質別にみると木製、金属製、陶製があげられます。木製のものには、白木製、黒漆製があり、金属製のものには、銅鑄製、金銅板製、鉄鑄製、鉄板製など多くの金属が材質として使用されています。

奈良時代、釣燈籠の異例は見ません。

春日大社蔵の黒漆塗瑠璃燈籠は、平安後期から鎌倉初期の製作と考えられていて、火袋は瑠璃玉をつなげて簾のようにしてあり、瑠璃を透かして燈明の火がもれてくるという優雅な佇まいが魅力です。平安後期の耽美的な情趣が感じられる釣燈籠です。これ以降の釣燈籠には紀年銘を有するものがかかりあり、慶長以降江戸時代のもとは非常に多く、奈良春日大社はその所蔵量においては第一と言われています。

今回お話ししたい当社の製作した八角釣燈籠の見どころは、全体のバランスと透かしの技術のすばらしさです。こちらをご覧ください。宝珠部分は真鍮に絞りで形に仕上げます。笠は銅板製です。全体の塗装は、青銅色の焼き付け塗装仕上げです。火袋は銅製で、糸のこを使い、全体的に花菱文様の透かし仕上げにしています。火袋の正面には一対に鳳凰の文様を入れ、欄間も同様に糸のこを使い、宝相華唐草文様の透かし仕上げにしています。本体の底にも透かしの宝相華を施し、燈明の火が優雅にもれてくるよう、趣を持たせました。完成したものを見たときは、とても安らかな気持ちになりました。

最後になりましたが、百味講たよりの掲載にあたり、許可及びご協力を戴きました、群馬県桐生市の定善寺様にはお礼申し上げます。



正面花菱文様 ←



面宝相華文様 →



定善寺様 (群馬県桐生市)



「時代は廻って」

吉野法衣店 吉野 輝雄

現在より遡

ること五十余年、バブル景気が始まる更に十年以上も前のことです。当時は「浄土宗開宗八百年」いわゆる（開八）を目前にして お寺



水冠

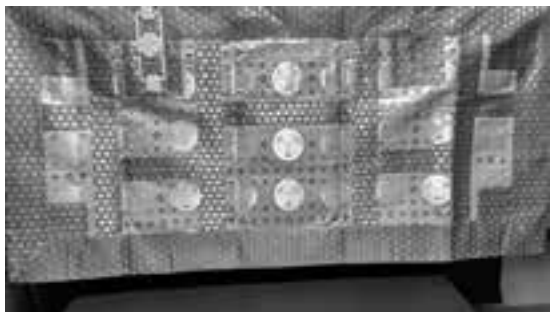
様方も、私共業者も色々と準備に励んでおりました。私は当時十代の中学高校生の時分で、職人さんに生地を届けたり 仕立て上がったものを持ち帰ったりと時々手伝いをしていたことを憶えております。その後店の仕事に就き、ちよつとした縫い物や

ネームの取付けなどをしている折に 針に長目の糸を通していたためか途中でその糸が絡んでしまい 解すのに苦勞してしまいました。偶々それを目にした父が「下手の長糸上手の小糸っていうぞ」と言ったことを思い出します。手を省こうとして却って厄介なこととしてしまっていたのです。 能率向上や省力化がなお求められる昨今ではあります。が、きちんと手間を掛けた手仕事のぬくもりと気配り そういったものこそ重要かと感じております。

時は廻って「浄土宗開宗八百五十年」まであと一年余り。職人さんの高齢化、引退、代わりと変遷しておりますが その『手仕事』を大切にしてゆきたいと思っております。



小五條



大師五條（大師衣）

百味講アルバム2022

御 忘



今年も頑張るぞ



只今着付け中の古島顧問と吉野さん

執事の先生方との最後の懇親会



皆様、大変お疲れ様でした。そして、ありがとうございました

百味講アルバム2022

研修旅行(八海山)



山頂よりの展望



雪のロープウェイ山頂



仕事熱心な仏師山本講元



弥彦神社で



お酒に囲まれ、茂呂さんも「ニヤリ」

令和3年度百味講事業報告

自 令和 3 年 3 月 1 日
至 令和 3 年 2 月 28 日

令和3年	3月 5日	講中護持会役員会
	26日	定期総会 「椿の間」
	4月 4日	定例会、御忌供物準備会「天陽院」
	4月5日～7日	御忌大会（お練行列3座出仕）
	4月18日	地藏尊慶讃大法要、お練参加
	5月15日	正五九祈願会「安国殿」
	7月 5日	講中役員会
	7月14日	百味講定例会「椿の間」
	9月15日	正五九祈願会「安国殿」
	9月16日	百味講定例会「文化室」
	11月6日～7日	研修旅行、静岡大井川・藤枝方面
	12月 1日	講中役員会
令和4年	12月 2日	講報25号発送作業
	2日	百味講忘年会「らん月」
	1月15日	正五九祈願会「大殿」
	1月20日	節分追儺式事務所開き
	2月 3日	節分追儺式・行列整備・当り券引換
	2月22日	円山隨身稲荷慶讃法要（二の午）

号外

山本講元が東京マイスターとして表彰されました。

ドイツ語で名人を意味する「マイスター」。東京都は、極めて優れた技能を持ち、他の技能者の模範と認められる方を東京マイスターとして表彰しています。この度、山本講元がその卓越した技能を認められ、表彰されました。



浄土宗
袈裟・法衣専門

(有) 吉野法衣店

吉野 輝雄

〒160-0012 新宿区南元町17
TEL 03-3355-2168 FAX 03-3355-2204

御袈裟・法衣専門

太田法衣店

太田 祥二

〒121-0076 足立区平野2-15-16
TEL 03-3883-3225 FAX 03-3883-1634

伝統の技
三代にわたる信頼

(有) 古島法衣店

古島 浩

〒111-0041 台東区元浅草4-2-1
TEL 03-3842-1289

総合印刷

(株) エスプリ

阪本 順一

〒135-0033 江東区深川1-6-7
TEL 03-3641-1891 FAX 03-3641-1923

仏壇・仏具

(株) 瑞祥浜田

浜田 明男

〒111-0042 台東区寿2-9-13
TEL 03-3844-9473 FAX 03-3844-5017

表装・額装・襖一式

石森表具店

石森 一

〒108-0073 港区三田1-7-2-102
TEL 03-3451-3138

佛像彫刻・文化財保存修復

佛師 山本 築老和

山本 築老和

〒145-0063 大田区南千束3-28-5
TEL 03-3727-1122 FAX 03-3727-1122

仏壇・仏具

(株) 安田松慶堂

星野 家康

〒104-0063 中央区銀座7-14-3
TEL 03-3542-5771 FAX 03-3546-2140

増上寺謹製・三縁クッキー

(有) ポエム洋菓子店

安部 嘉祐

〒174-0046 板橋区蓮根1-18-11
TEL 03-3966-2324 FAX 03-3966-2398

音響・映像・NET配信

(有) ボブス

豊田 浩人

〒145-0067 大田区雪谷大塚町7-10-703
TEL 03-3729-5148 FAX 03-3729-5149



大本山
増上寺
御用
達百味講

創業寛政二年(1790年)八代目

(有) 石政石材店

眞田 貴志

〒108-0071 港区白金台4-5-7
TEL 03-3441-1483 FAX 03-3441-3156

葬儀・式典企画運営

富士典礼

山本 雅嗣

〒142-0031 品川区豊町4-3-17
TEL 03-5434-2210 FAX 03-5434-0860

思いとどける ところ伝える。

(株) 日本香堂

小林 日出男

〒171-0014 豊島区池袋3-18-12
TEL 03-3973-7111(代) FAX 03-3530-1238

葬儀のご用命は
古い信用・新しいサービス

(株) 牧野総本店

豊島 洋子

〒108-0074 港区高輪1-21-1
TEL 03-3445-0506 FAX 03-3445-0508

お花で思い出を永遠に

(株) 花 幹

三須 健

〒143-0024 大田区中央8-31-11
TEL 03-3755-2120 FAX 03-3754-4687

懐石料理

(株) 味ごよみ一心

廣中 久見

〒105-0011 港区芝公園2-6-8
日本女子会館1F
TEL 03-3438-1041 FAX 03-3438-1044

旅のことならすべておまかせください

東武トップツアーズ 東京法人
東事業部

茂呂 政明

〒103-0025 中央区日本橋茅場町2-10-5
住友生命茅場町ビル2F
TEL 050-9000-4246 FAX 03-6667-0565

各種ご用命は
御本山御用達の百味講
各店へ!



大本山
増上寺御用達
百味講